

図1 1日1頭あたりのシエルタ利用時間と気象条件との関係

表1 放牧開始後1ヶ月間の日増体量、放牧開始後の体重回復日数および体重減少量と、放牧期間中の日増体量および放牧終了時の体重

目的変数	平均値±標準偏差		偏回帰係数		標準偏回帰係数		P値
	シエルタあり	シエルタなし	シエルタあり	シエルタなし	シエルタあり	シエルタなし	
開始後1ヶ月間							
日増体量(kg/日)	0.48 ± 0.34	0.18 ± 0.73	0.639		1.676		0.022
体重回復日数 ²⁾	22 ± 9	26 ± 15.0	-12.380		-1.147		0.093
体重減少量(kg) ³⁾	13 ± 8	16 ± 7.8	-4.794		-0.620		0.455
放牧期間							
日増体量(kg/日)	0.77 ± 0.12	0.73 ± 0.03	0.066		0.677		0.614
終了時体重(kg)	289 ± 34	284 ± 48	9.889		0.260		0.509

1) 線形混合モデル(固定効果:シエルタ, 変量効果:年次, 共変量:放牧開始時の体重および月齢)

2) 放牧開始後体重が減少し, その後放牧開始時の体重まで回復するのに要した日数。

3) 放牧開始後最も体重が減少したときの放牧開始時からの減少量。

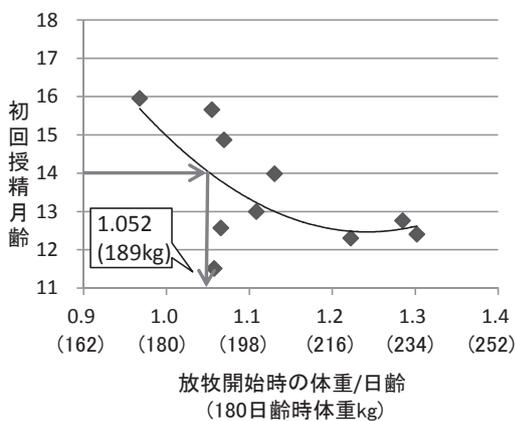


図2 場内試験における放牧開始時の日齢に対する体重の比と初回授精月齢の関係

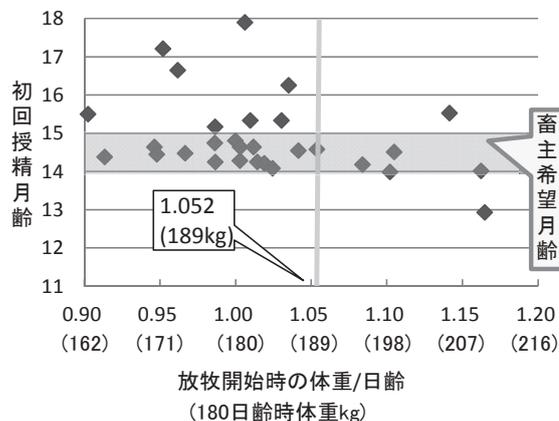


図3 A牧場における放牧開始時の日齢に対する体重の比と初回授精月齢の関係

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研根釧農業試験場 研究部 乳牛グループ 西道由紀子
 電話 (0153) 72-2036 FAX (0153) 73-5329
 E-mail : nitsimiti-yukiko@hro.or.jp